

第3章

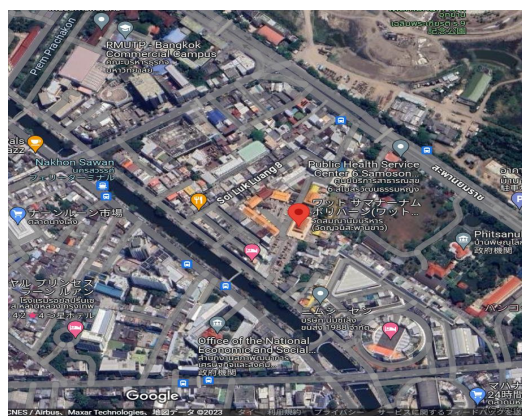
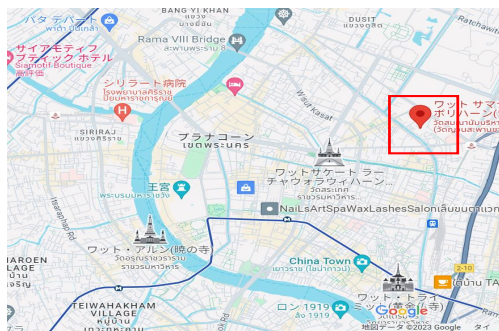
景福寺 Wat Samananam Borihan の建築的特徴

大田 省一・Xaroj Phrawong

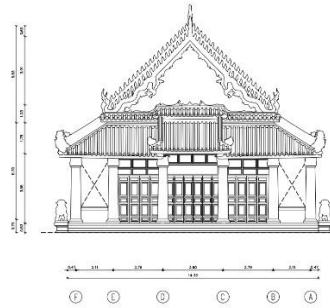
景福寺 Wat Samananam Borihan 簡史

- ベトナム移民の僧堂として、現在地（パドン・クルンカセム運河 Padung Krungkasem canalに面した位置）に建立.
- ラーマIII世(1824–1851CE)期に、景福寺 Cảnh Phước Tự(Canh Phuoc Temple) と命名.
- 仏堂viharn (ubosot) がラーマIV世の寄進により建立.
- 1875年、Wat Samananam Borihan とラーマV世 (1868-1910)により命名.
- 仏暦2491年(西暦1948年)、仏堂 ubosot改修
(碑文では「改葺（屋根の葺き替え）」となっているが、より大規模な改修が行われたと思われる)

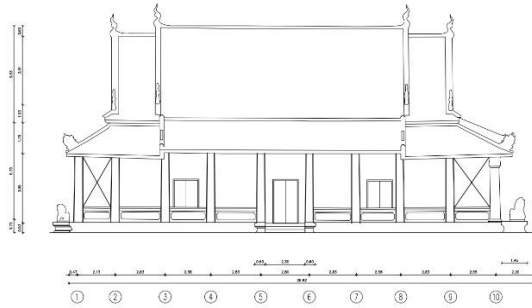
周辺図



正面図・側面図（仏堂 Ubosot）



ELEVATION 1
SCALE BAR 0 1 2 3 4 5 10



ELEVATION 2
SCALE BAR 0 1 2 3 4 5 10

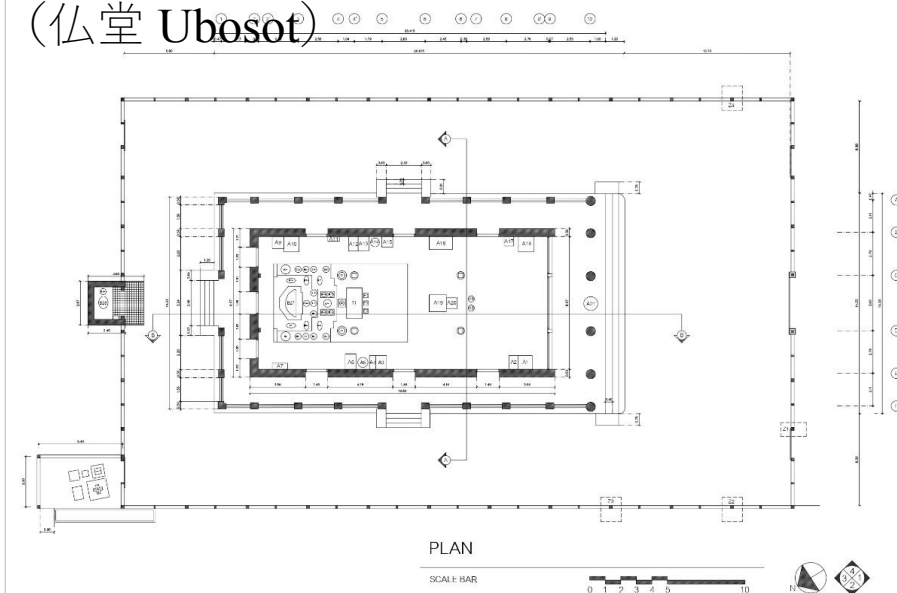
外観（仏堂 Ubosot）



仏堂 Ubosot の変遷



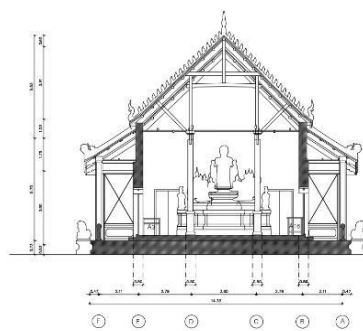
平面図 (仏堂 Ubosot)



内観（仏堂 Ubosot）

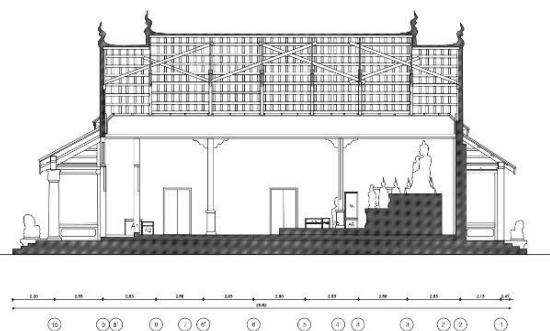


断面図（仏堂 Ubosot）



CROSS SECTION

SCALE BAR 0 1 2 3 4 5 10



LONGITUDINAL SECTION

SCALE BAR 0 1 2 3 4 5 10

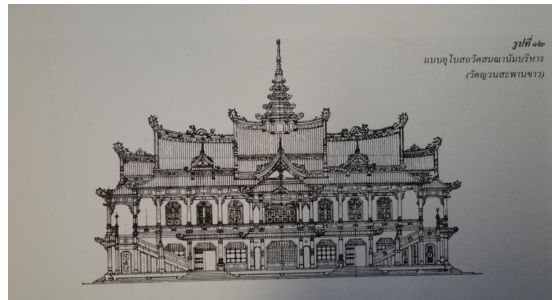
仏塔 Mondop



Mondop



祖師堂



藏經樓



火葬施設

